

佐土原城発掘調査と関連イベント開催!

佐土原城跡は天守台を持つ貴重な中世の城郭跡で、
歴史的な重要性が高く、保存状態が良い史跡です。

9月下旬から10月上旬にかけて一般公開され、専門家を招いて記念講演も開かれました。

佐土原城発掘調査PRウイーク

◇◇◇◇◇ 2017年9月30日~10月9日 ◇◇◇◇◇

9月30日に宮崎市佐土原交流プラザで、城郭研究者として知られる八巻孝夫氏、千田嘉博氏による記念講演が行われました。佐土原城はどんな城だったのか、これまでの歴史や、今回の調査目的である天守台の真の姿を探る手法など、城への興味を一層深める内容でした。現地では発掘調査説明会も行われ、多くの市民が訪れました。



八巻 孝夫氏

千田 嘉博氏

記念講演



発掘調査説明会

佐土原城発掘調査

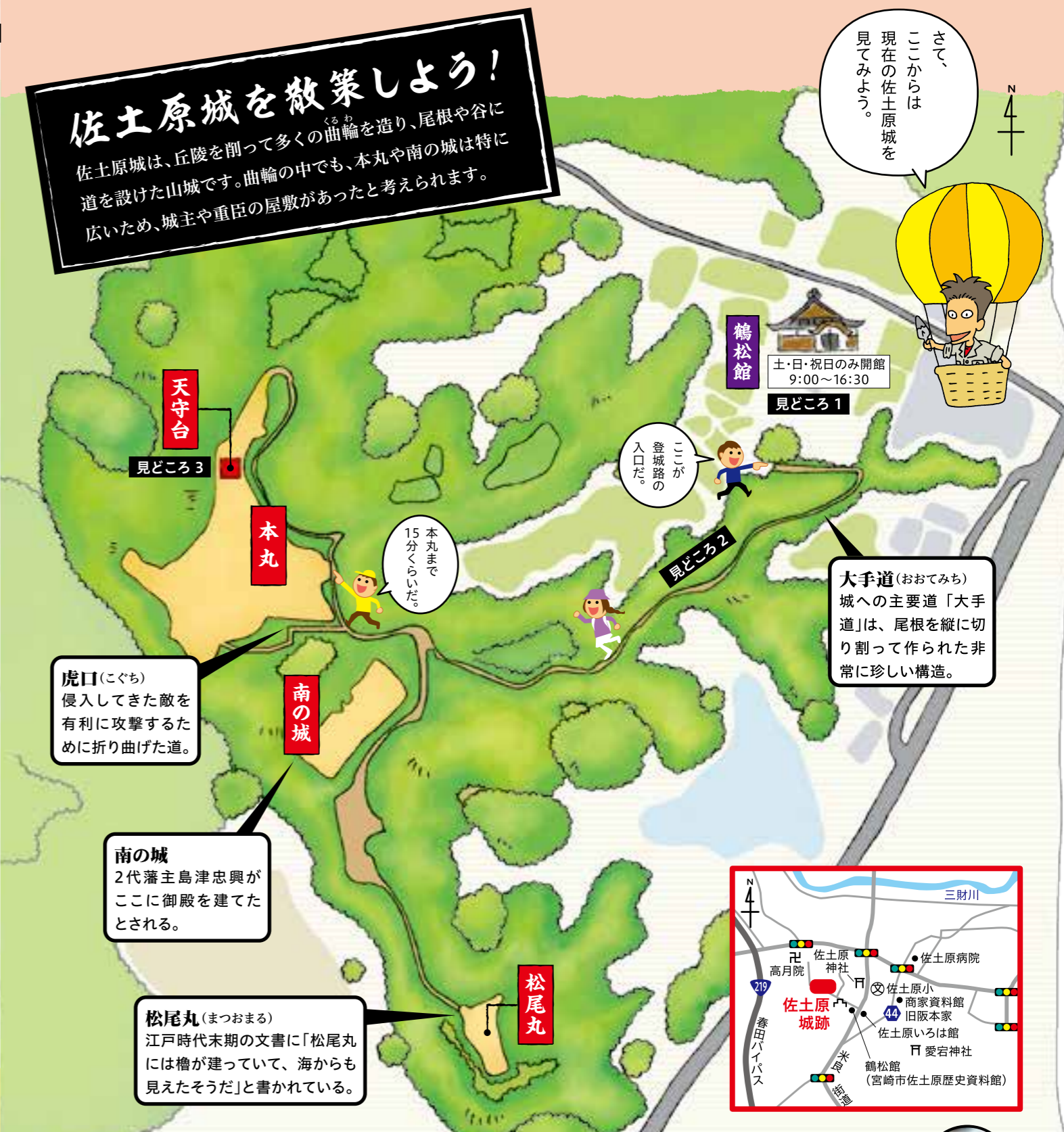
◇◇◇◇◇ 2017年7月~10月 ◇◇◇◇◇

今回の発掘調査は本丸跡の天守台付近を中心に、天守台の構造や破却(城を壊す)の状況など、詳細なデータを集める目的で行われ、鯨瓦をはじめとする大量の瓦や天守台の石組み、礎石、柱跡などが見つかりました。こうした大きな成果をもとに今後さらに検証を進め、往時の佐土原を理解し、活用するための遺構整備を行っていきます。



佐土原城を敵策しよう!

佐土原城は、丘陵を削って多くの曲輪を造り、尾根や谷に道を設けた山城です。曲輪の中でも、本丸や南の城は特に広いため、城主や重臣の屋敷があったと考えられます。



佐土原城はまさに地域の宝。大切に守り、誇りを持って後世に伝えていきたいね。



誇れる宝 佐土原城跡を守る地域の活動

ふるさとの歴史を次代へ
佐土原小学校区地域づくり協議会
上田 克彦さん



発掘調査に先駆け、約100人が参加して、城跡に茂る竹の伐採を行いました。周辺には史跡も多く、地域の歴史を再発見するウォークラリーを開催し、若い人たちにも多く参加してもらっています。

問 文化財課 ☎47-8012 FAX47-8202

見て、歩いて、歴史を体感
鶴松館ガイドの会
蛭原 澄子さん



佐土原城が「続日本100名城」に選ばれ、訪れる城郭ファンも増えました。ガイドの会が案内する鶴松館から本丸まで、登城路は往復30分程度。佐土原の歴史を見て、歩いて体感してください。

見どころ3 南九州唯一の天守

天守とは、城の中にある中心的な櫓のことで、その下の石組みを天守台と呼びます。佐土原城は、20年前の調査により南九州で唯一、天守の存在が学術的に確認されました。山城でありながら天守を持つ、珍しい城です。



見どころ2 敵を防ぐための登城路

佐土原城の登城路は、どの道も深い谷の間を上るように造られています。登城路を上ってくる敵に、谷の上から攻撃することを目的としています。



見どころ1 きんぱくしゃちから 金箔鯨瓦の発見

発掘調査では天守台付近から多くの瓦が出土しています。その中に鯨瓦の一部があり、その表面に施された金箔がかすかに残ったものも発見されました。金箔鯨瓦をはじめとする遺物は、鶴松館に展示されています。

